



心動かすアートに出会う

主催：沖縄県・(公財)沖縄県文化振興会

共催：久米島町・久米島町教育委員会・東村・東村教育委員会・九州文化協会・沖縄県文化協会  
後援：沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局・沖縄テレビ放送・琉球放送・琉球朝日放送・  
エフエム沖縄・ラジオ沖縄

【お問い合わせ先】

(公財)沖縄県文化振興会 TEL.098-987-0926

詳しくはHPをご覧ください <https://www.okicul-pr.jp/kengeisai/>



第51回沖縄県芸術文化祭図録は令和5年10月15日発行 無料配布  
令和5年3月訂正版を掲載



# 沖縄県 芸術文化祭

第51回

Okinawa Art & Culture Festival 2022

心動かすアートに出会う

美術・書道・写真 公募展 図録

# CONTENTS

主催者あいさつ ..... 1

## ■ 美術公募展

各受賞者作品・審査員講評 ..... 2

美術公募展出展作品一覧 ..... 6

## ■ 書道公募展

各受賞者作品・審査員講評 ..... 8

書道公募展出展作品一覧 ..... 12

## ■ 写真公募展

各受賞者作品・審査員講評 ..... 14

写真公募展出展作品一覧 ..... 18

## ■ 歴代部門別入賞者一覧 ..... 20

## 美術・書道・写真 公募展

### 本展

会場：沖縄県立博物館・美術館 **入場無料**

日時：2022/10/15 **土** ~ 23 **日**

- 初日10/15(土)は展示時間10:00~20:00(入館は19:30まで)
- 開館時間:9:00~18:00(入館は17:30)
- \*金・土曜日は9:00~20:00(入館は19:30まで)
- \*10/17(月)休館日

### 写真 選抜展

会場：久米島博物館 **入場無料**

日時：2022/10/29 **土** ~ 11/13 **日** ※月曜日のみ休館

会場：東村立山と水の生活博物館 **入場無料**

日時：2022/11/19 **土** ~ 12/7 **火** ※月曜日と11/23(祝)は休館

## 令和4年度沖縄県伝統芸能公演 重要無形文化財保持者等公演

会場：伊平屋村産業連携拠点センター **入場無料**

日時：2022/12/10 **土** 19時開演

## 主催者あいさつ



沖縄県知事

玉城 デニー

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

第51回沖縄県芸術文化祭の開催に当たり、御挨拶申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の多様な文化芸術活動を奨励し、文化向上と発展を目的として、沖縄が本土復帰をした昭和47年から毎年開催しております。

今年も多くの方々の皆様から、写真・美術・書道の各部門合わせて、昨年度を上回る501点の作品が寄せられ、芸術文化活動の広がりを、誠に喜ばしく思っております。

応募いただいた作品の中から、厳正な審査の結果、292点の作品が入選されました。

この度、沖縄県知事賞をはじめ、入賞された皆様並びに入選された皆様、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

作品については、県立博物館・美術館に展示しておりますので、是非足をお運びいただき、多くのすぐれた作品を御覧いただければ幸いです。

また、本展終了後には、久米島博物館及び東村立山と水の生活博物館において、写真移動展を開催します。

さらに本芸術文化祭では、舞台部門として伊平屋村産業連携拠点センターにおいて、重要無形文化財保持者等による組踊や琉球舞踊等の舞台公演を開催するとともに、組踊の楽しさを体感できるワークショップを実施します。

地域住民の皆様をはじめ多くの方々に、沖縄が誇る伝統芸能の魅力を存分に堪能していただきたいと思っております。

沖縄県としましては、今後とも県民の皆様が沖縄の文化に誇りと愛着を持っていただけるよう、多様で創造力豊かな文化芸術活動を奨励・支援するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供してまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いします。

結びに、沖縄県芸術文化祭の開催にお力添えいただきました審査員をはじめ、関係者の皆様に深く御礼申し上げ、挨拶といたします。

## 「心動かすアートに会う」

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

第51回沖縄県芸術文化祭公募展を開催に際しまして、ご挨拶申し上げます。

沖縄県芸術文化祭は、県民の皆様が多様な芸術文化活動の奨励と優れた芸術作品の鑑賞の機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的に昭和47年度から毎年開催しており、今年で51回目を迎えます。

50回目の節目から51回という新たな一歩を踏み出すことができましたことも、ひとえに多くの県民の皆様をはじめ芸術家の皆様そして、審査員の先生方の御協力、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

17歳から92歳までの県民の皆様から501点の応募作品があり、厳正なる審査の結果、入選された個性豊かな292点の作品と審査員及び無鑑査資格者の作品を展示いたしております。また写真作品につきましては、本展終了後、多くの地域の方々に鑑賞の機会を広げることを目的とした写真選抜展を東村(東村立山と水の生活博物館)及び、久米島町(久米島博物館)で開催します。

さらに舞台部門では、重要無形文化財保持者等による舞台公演を実施します。国の重要無形文化財である組踊、琉球舞踊の多彩な演目と伝統芸能の奥深さを多くの方々に感じていただければと思います。

沖縄県文化振興会は、みせる・つなげる・ささえる・つくる・そだてるを五つの柱とし、文化芸術活動の支援に全力で取り組んでおります。県民の皆様には、本芸術祭をとらえて芸術文化活動を身近に感じ、芸術文化を楽しむきっかけの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、新たに51回目を踏み出した今年、新型コロナが蔓延する中でも、昨年より応募数がわずかですが増加し、今日ならではのテーマでの創作作品も見受けられました。今の時代の様々な事象、個々の内面等を作品に昇華し、表現するというところに果敢に挑戦してくださった応募者の皆様、ご支援くださった関係者の皆様、そして、いつも丁寧かつ熱意をもって審査して下さった審査員の先生方に心より感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

## ■ 沖縄県知事賞

## 「地相2022(3)」

與那覇 勉



與那覇氏の地相が新しい展開を見せてきたようである。今までは空中に縦に積み重なった地相、つまり普通に言われている地相を作者ながらのこだわりを持ちながらも、ある意味、素直に表現してきたと感じていたが、今回は一見するとジャングルを上から見たような情景である。中心近くに僅かにいままでの地相が窺えるが、横への広がり画面を圧倒している。これまでの地相は空中に突き刺さるようにそびえているその積み重なり、重みと空とが、遺跡のようなものと相俟って、自然の偉大さを、目の前に突きつけているように感じられた。それが突然の変化をみせた。しかし幾度も見返しているうちにジャングルの茂みが大きく回転し、渦を巻きながら広がって行くように見え、しかも茂みの裂け目にはいままでの地相が潜んでいる様である。地相はどのような深みを見せるのか、これからも期待したい。

講評担当者 西村 立子

第51回沖縄県芸術文化祭

## 美術公募展

## ◆ ◆ ◆ ◆ 美術総評 ◆ ◆ ◆ ◆

コロナ禍により2020年度は中止、昨年度もイベント中止が相次ぐ中、第51回展が開催できたことはとても喜ばしいことである。本土復帰50年の今年度は異常気象に、変異株第7波、ウクライナ危機と更に驚くべきことは我が国の元総理大臣が襲撃される思いもよらない事件が起きた。平和憲法の下で77年間戦争の無かった日本で近年不穏な空気が漂う。平和な時代でしか表現できない美を希求する県民の創造力が発揮される県芸術展。アートの力を信じ芸術祭美術部門に応募され、見事に入選・入賞された方々に多大な称賛を送って頂きたい。芸術の秋、観る人の心を癒し、豊かに表現された美術作品をご覧ください。有り難いと思う。

今年度の審査会場は美術館・県民ギャラリー奥のアトリエにて昨年より増えた全応募作品を総覧した後、作品審査がスタートした。公開審査の状況を美術館講座室にてモニターで逐一ご覧になれたと思う。午前中は11人の審査委員で117点の平面・立体の応募作品の中から挙手によって入選・保留を慎重に審査し、保留作品9点を論議しながら入落を決めた。午後は作品レベルも昨年より良くなり厳選して入選は66点になった。女性審査委員も増え11人で更に入選の中から優秀な賞候補作品を挙手で行い11点を選出した。正賞の5作品を決定するために賞候補の選出を何度かの投票によって6点に絞られた。更に投票で入賞以上の5点を上位得点順から選び、下位3点を奨励賞とした。上位2点を最終投票にて最優秀の県知事賞を決定し次点が文化振興会理事長賞となった。最高賞の沖縄県知事賞に與那覇勉「地相2022(3)」である。沖縄県文化振興会理事長賞の伊元隆一「朱色のカチャーシー」。奨励賞に平敷傑「あっちゅんヒージャー」、伊志嶺達雄「焦げた十字架」、浦田健二「Nu-tation, Nu-creation 02」。受賞歴のない賞候補から新人賞が決まった。新人賞は比屋根清隆「彼方」、詳細は各審査委員の講評にまかせる。

沖縄の象徴的な首里城が火災で焼失等、現在の沖縄の時代性を反映した応募作品が多々見られる。用の美、沖縄伝統工芸の螺鈿や紅型の高度な技術を駆使した作品が見られる。その中でインスタレーション等、現代美術の中でのジャンルを越えたクリエイティブな新たな表現と挑戦が望まれる。

美術部門審査員長 佐久本 伸光

■ 奨励賞

「спалений хрест  
焦げた十字架」

伊志嶺 達雄

白いドンゴロス(布)が巻かれた焼け焦げた十字架。その下に転がる焼成された瓦礫状の塊。十字架には、弾丸が刺さり込んでいる。それらは、現代において尚、愚かな我ら人類の引き起こす、軍事武力の不条理な惨禍の象徴であろう。瓦礫に焼き付けられた漂着軽石は、その遠い地の蛮行と、キーストーンの地沖縄のはらむ状況課題を、結び付ける役割ととれる。黒々とした立体造形に託された、心理の奥の怒りの熱。白布が想起させる、傷を癒さんとする痛ましき包帯。力わがざの造形と、内に秘められたデリケートな感性の祈り。その共存の成果が、評価の所以であろう。制作表現する者の共感を込め、尚さらのたゆまぬ発信を期待したい。

講評担当者 大城 譲



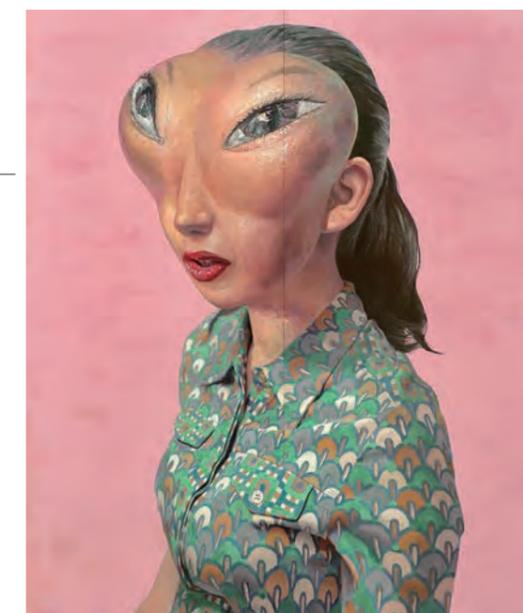
■ 奨励賞

「Nu-tation, Nu-creation 02」

浦田 健二

浦田氏の作品は、女性像を一部デフォルメし、見るものに対し違和感を与えるような印象的な作品となっており、身体の具象的表現から視点を動かした瞬間！強い衝撃が走る。違和感だ。インパクトのある眼球は、冷ややかで移り変わる時代の何を見据えているのか？今回2点出品しており、制作において人間の内面を表層的表現へと置き換え、刺激的に放出しているかのように感じる。制作過程を考察すると、ベースにアルミ複合版を活用し、塩ビ素材ヘインクジェット出力と手彩色により、近代的素材活用により自己表現へと繋げていると考える。新しい表現と見ても良いかもしれない。浦田氏は第48回では新人賞を受賞しており、その力量も実証済みで、近年のデジタル的表現を模索していると考え。今回の作品は、審査の段階で賞候補として推薦され、独自の視点や表現作品として奨励賞となった。一つ気になったのが、背面の設置金具であり、芸術作品としての観点から選定が必要かと考える。今後の制作に期待したい。

講評担当者 赤嶺 雅



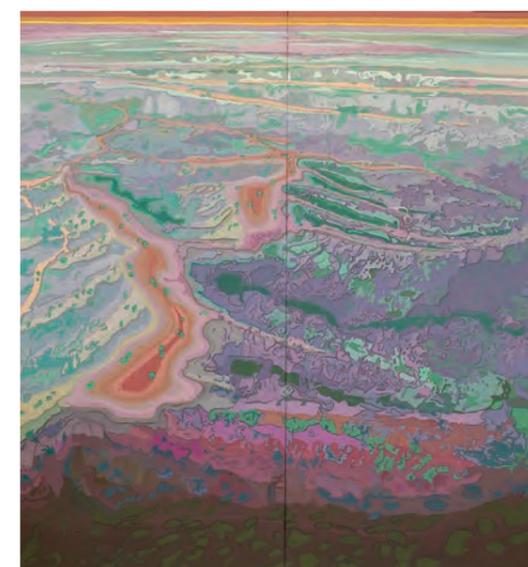
■ 新人賞

「彼方」

比屋根 清隆

画面の下部は、古い地層の中に化石が堆積し、地表に沿って横に傾れ込むマグマの動きを連想させる。画面上部へ向かって紫の淡いグラデーションが美しく展開される。大地を俯瞰するような、地平線を見据えるような、スケール感のある作品である。穏やかな色彩や形態であればある程、その中に潜むのは、静かに思考の深海にもぐる姿であり、作者の心のフィルターを通して、つき抜ける程の不条理な悲しみがクローズアップされて来る。作者は言う。我々の日常に付きまとう世界規模の「不安」を描いたと。地球の重さは、近代の度量衡であるメートル法では、60垓トン(60兆トン1億倍)であると言う。よく人の生命は地球の重さより重いと言うが、過去も現在も絶え間なく人の生命は人の手によって消され続けている。絵画(美術)は何を表現できるだろうか。これからも優れた作品を期待いたします。

講評担当者 與那嶺 芳恵



■ 沖縄県文化振興会理事長賞

「朱色のカチャーシー」

伊元 隆一

大画面を帯状に朱色が力強くダイナミックに躍動し、鑑賞者に強い印象を与える。それは、複雑に絡み合う枝珊瑚を、乱舞する人々に擬人化したようにも見て取れる。支持体であるキャンパスは縦に三分割され中央は数センチ奥まって段差がある。バックの色彩は、思い悩んで色を置いては又、塗り消すを繰り返したのか重厚で深い味わいがある。作者が納得のいくまで格闘した痕跡が伝わってくる。そこを凝視すると、何らかの象徴であろうかローマ字や数字のコラージュが存在する。朱色は隣接する青、緑、黄などによってその存在感が際立つが、反面互いに対峙するようにも思えてくる。物事には、陰と陽が存在するが本作品は抽象化することで沖縄の現状を声高にではなく深く静謐な表現を試みたのではないだろうか。青い海、亜熱帯の緑、輝く太陽、観光沖縄と太平洋の要石(キーストーン)として様々な不条理を負う沖縄。この現実を全部チャンプルーにしてカチャーシーで払拭し、より良い未来の到来を待つとの思いだろうか。後日、伊元氏と受賞作について意見交換したが、表現のキーワードは分断であり、キャンパスの三分割、コラージュのローマ字、色彩の朱色、青、緑などはその事を暗示しているとのこと。作品に秘められた沖縄の現状への憂いや未来志向が凝縮された優作である。

講評担当者 屋良 朝彦



■ 奨励賞

「あっちゅんヒージャー」

平敷 傑



奨励賞受賞おめでとうございます。見る者にほんわかとした感情を抱かせる作品です。テラコッタの技法で、デフォルメされたピージャーが少し大きめの三体、その足下には100体近くの小さなヒージャーが、カーブをえがいて、まさにトコトコと歩いています。子供の目線に近い大ききで制作された今回の作品から、作者の暖かな心情が伝わってくる良作です。氏の数々のヒージャーをモチーフにした作品を見てきましたが、並々ならぬヒージャー愛は、幼少期に祖父と育てた頃から育まれたものと聞きます。ヒージャーは昔から今日まで沖縄県民にとって「ソウルフード」として根強い人気を誇っています。身近な動物であり、氏は作品として表現している数少ない作家の一人だと、思われます。優しい目は作者の作品からも伝わってきます。今回はテラコッタの作品で色合いも形もこれまでよりシンプルになり、思わず触れたいくなるような仕上がりとなっています。今後も更に展開を重ね、良い作品を生み出して下さることを期待してやみません。あっちゅんヒージャーの限りない飛躍に。

講評担当者 上原 成美

## ■ 美術公募展作品一覧

### 審査員出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
時空を超えて	140×99	平面	版画インク(油) クレパス	仲本 和子
鳥啼花	S100	平面	アクリル画	上原 成美
木立	F40	平面	日本画	西村 立子
MY SPACE (マイ スペース)	90×180	平面	ミクストメディア	屋良 朝彦
壁	91×115.5	平面	アクリル	大城 譲
潮流のラビリンス	F100号	平面	キャンパス アクリルペース	佐久本 伸光
手のひらの消失点	164×164	平面	アクリル	與那嶺 芳恵
home land	70×180	平面	ミクストメディア	山川 さやか
寄り添う不完全な形	93×121	平面	紙・顔料インク	赤 嶺 雅

### 無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
Wind Scape	187×96	平面	アクリル	知念 秀幸
Emotinal/scene1	180×180	平面	アクリル	池原 優子
羅漢	130×164	平面	油彩、アクリル	鶴見 伸
黒い森	189×189	平面	油彩	平川 宗信

### 美術入賞作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
沖縄県知事賞 地相2022 (3)	188×177.5	平面	アクリル	與那覇 勉	与那原町
沖縄県文化振興会理事長賞 朱色のカチャーシー	185×170	平面	アクリル	伊元 隆一	読谷村
奨励賞 あっちゅんヒージャー	43×170 ×120	立体	テラコッタ、木	平 敷 傑	那覇市
奨励賞 спаленийхрест 焦げた十字架	200×200 ×200	立体	鉄、軽石、 流木	伊志嶺 達雄	名護市
奨励賞 Nu-tation, Nu-creation 02	182×152	平面	アクリル	浦田 健二	糸満市
新人賞 彼方	198.5×184	平面	アクリル	比屋根 清隆	沖縄市

### 美術入選作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
conscious	70×50	立体	陶土	鈴木 まこと	那覇市
懐かしの アチネー風景	145×176	平面	油彩	仲本 潤一郎	沖縄市
ちんなん	110×140	立体	木	仲村 春孝	宜野湾市
青眼すじ金入神様の 永遠眼政策	130×194	平面	油彩	宮城 和邦	大宜味村
南風	69×54	平面	押し花	伊是名 教子	南風原町
紡ぐ	105×54	平面	顔料 染料(紅型)	相田 あゆみ	与那原町
椰子蟹	9×40	立体	ブロンズ	伊藤 銀	那覇市
トルファンの洋服屋	89×108	平面	油彩	権田 律子	糸満市
成都(チンドンウ)の 裏通り	86×105	平面	油彩	権田 律子	糸満市
モントリオールのカフェ	45×54	平面	押し花絵	安藤 義枝	糸満市
海風、アシムイ	165×115	平面	油彩	狩 俣 正	豊見城市
斎場御嶽	165×134	平面	油彩	狩 俣 正	豊見城市

### 美術入選作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
那覇沿岸漁港	107×133	平面	油彩	亀浜 勇吉	那覇市
ファンタジー	135×199	平面	油彩	高原 武子	嘉手納町
首里劇場のある一室	65×50	平面	アクリルガッシュ	渡邊 帆高	那覇市
悠久の賦II	101×127	平面	油彩	大城 裕	南風原町
Pixel-NO.75	53×45.5	平面	AcrylicPaint	森根 貴広	うるま市
首里の大アカギ	110×85	平面	水彩	大城 昌光	那覇市
うみないび	92×80	平面	油彩	下地 りえこ	那覇市
一輪挿し	63×56	平面	油彩	高 嶺 伸	那覇市
さんざめく	178×145	平面	水彩	知花 竜也	うるま市
島のハーリー	98×133	平面	油彩	仲間 英子	読谷村
暁の静寂	136×168	平面	油彩	大田 隆男	北中城村
彩海	162×162	平面	油彩	八木 洋子	うるま市
シーサーと 鹿家のある風景	115×148	平面	油彩	大城 春信	那覇市
シルバーホライゾンⅢ (薄暮)	145×176	平面	油彩(アクリル) セラミックパルーン	糸洲 英子	豊見城市
若い人	99×68	平面	色鉛筆	城間 文雄	那覇市
AGARI・WORK Ⅲ	112×183	平面	皮 紙 アクリルフィルム	石原 美智子	与那原町
祈り	133×165	平面	水彩	渡久地 利江子	西原町
何処へ	163×132	平面	油彩	砂 川 秀 勝	那覇市
Nu-tation, Nu-creation 03	182×152	平面	アクリル	浦田 健二	糸満市
沖縄・永い沈黙	184×186	平面	アクリル	砂 川 恵 光	浦添市
Summer Dreams	122×76	平面	アクリル	ケイト・オカハン	恩納村
夏の日	130×162	平面	油 アクリル	津波古 政廣	恩納村
黄色のアパート	195.5×163.5	平面	アクリル	伊芸 匠志	うるま市
回遊	86.5×67	平面	型染 糊 防染(綿、顔料)	又吉 隆史	宜野湾市

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
黒-NO-構造物	35×45	立体	陶土	神村 吉次	那覇市
ガラスのなかの岩	82.5×102	平面	アクリル 水彩 パステル他	大橋 幹	那覇市
マンボウの街	103.5×73.5	平面	デジタル印刷	饒平名 飛鳥	那覇市
始祖鳥珪化木	72.8×51.5	平面	ベニヤ板 ウッドバーニング	島袋 大輔	南風原町
再生II	47×83	平面	水彩	中村 俊信	豊見城市
Tsumugu	91×116.7	平面	アクリル	玉元 優江	与那原町
Re-start	55×55	立体	石材(琉球石灰岩、 久米石、ブロック) ベニヤ、ワイヤー	加島 治	北谷町
歳月の樹	198.5×133.5	平面	油彩	比嘉 陽子	南城市
遙かなる,3	160×130	平面	油彩	島田 章一郎	那覇市
つながり	162×192	平面	アクリル	仲座 包子	中城村
東北旅路	96×122	平面	水彩	崎野 欣二	那覇市
昂る	45×182	平面	首里城破損瓦	荷川取 大祐	うるま市
白い壁	186×94	立体	発泡スチロール	松本 幸昌	那覇市
旅路21℃	188×188	平面	水彩画	千賀 ちか	中城村
見上げる	90×70	立体	軽量粘土 アクリル絵の具	吉里 裕子	沖縄市
joint-circle	155×130	立体	板材	中澤 将	浦添市
柳	200×91	平面	油彩	長嶺 勝磨	那覇市
習作のモチーフより	122×92	平面	油彩	いがわ はるよし	糸満市
ドライブ イン レストラン	185.5×186.6	平面	油彩	伊 禮 亮	嘉手納町
好日	113.5×147	平面	アクリル	赤嶺 史子	うるま市
街の記憶(10)	96.5×67	平面	木版	安次嶺 勝江	西原町
飛翠	72.7×168.1	立体	水彩 アクリル	棚原 麻里奈	那覇市
戦いすんで、夜が明けて… (とよみ大橋と鹿嶋橋)	95×185.5	平面	水彩	饒平名 知健	西原町
風化∞FLOW	180×180	平面	木版	金城 由美子	豊見城市

第51回沖縄県芸術文化祭  
書道公募展

◆ ◆ ◆ 書道総評 ◆ ◆ ◆

今年度は、漢字・かな・調和体・篆刻・刻字の作品、計122点の応募があった。

朝10時より午後4時すぎまで、11名の審査員で審査を行った。まず、挙手により過半数の賛同を得た110作品を入選と決定する。次に入賞作品を選ぶ審査へと進む。入選110作品を総覧し8票以上獲得の作品の中から「賞候補」と声のかかった21作品(漢字12、かな5、篆刻2、前衛2)を壁面に展示し、2回の投票を経て県知事賞以下入賞5作品が選ばれた。

県知事賞作品は、迫り来るような力強い線、自身の書を深く追求しようとの意気込みが伝わってくる意欲あふれる作品。県文化振興会理事長賞は、長年のひたむきな精進、努力が見事花開いた作、墨色で潤濁のメリハリをつけ安定した運筆でまとめた力作である。奨励賞3作品も、日頃の研鑽ぶりが充分発揮され書き手の熱意が運筆のリズムと共に観る者に訴えかけてくる力作揃いである。

奇しくも今回の入賞者5人、若手(40代)3人、熟年(80代)2人となった。若手3人はこれからの沖縄の書をリードして行ってほしい期待の人達であり、熟年2人はこれまで積み上げた技量が今回の作品に繋がった。あきらめずに希望を持って継続することの大切さを示しているとも言えよう。

書道部門審査員長 小杉 紘南



■ 沖縄県知事賞

「秋柳四首」

伊禮 かおる

県知事賞、おめでとうございます。

大字三行、細字三行で構成された六朝体(りくちょうたい)の楷書。六朝体の楷書は素朴さ、雄渾さが特徴で定まった筆法はなく、十の書蹟があれば、十通りの書き方があると言われている。その楷書をベースに自由闊達に表現した事が賞へと結びついたと思われる。

大字の一行目のたっぷりとした墨を含んだ「西」と「白」、二行目の「今」と「生」。それとは対照的に「銷」や「痕」の渴筆で墨量の変化をつけ立体感を表現し、更に「影」で大きく伸びやかに放ち次の「祇」で文字を小さく引き締め作品効果を生み出す「収」「放」が随所にみられ躍動感あふれる作品となった。

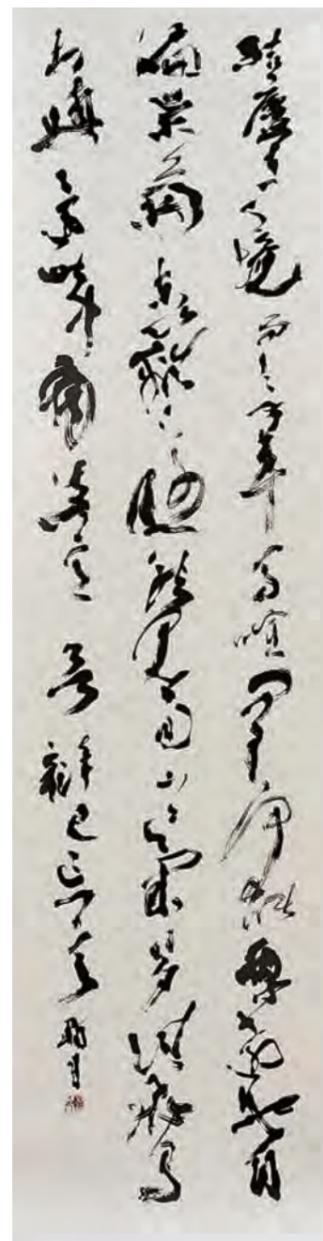
また、隣接する文字の上下左右にも配慮がみられうまく響き合っている。これは日頃の練習の賜物であり作者の書に向き合う姿勢が伺える。細字三行も大字とつり合いがとれているのが墨量に一工夫あると更に作品効果が上がると思う。今後更なる研鑽を積み精進される事を期待する。

講評担当者 運天 南陽

■ 奨励賞  
「陶淵明詩」  
東徳嶺 輔

単体により構成される作品であります。文字造形に工夫が見えてなかなか楽しい。文字と文字との間隔にリズムを感じる事ができる。また、文字の大小がうまく配置されていることと、線の太細をうまく取り入れ、全体としてはリズムカルな流れを表現できているかと思ひますし、行間の余白が綺麗です。また、全体的に墨量の濁筆のバランスもよく心地よい流れの中でできているかと思ひます。今後の作品を期待します。

講評担当者 我喜屋 明正



■ 奨励賞  
「小町の歌」  
仲里 美代子

この作品は、全横紙大横長の扇面1枚に、小野小町の和歌を1首づつ書き、計5枚を1組として2×6尺額に縦に並べてある。素直な伸びやかな線で安定感のある書きぶりは、中字作品として成功している。かな書のイメージを代弁するような字形・散らし・連綿線は観る者を平安時代の優美な宮廷世界へと誘ってくれる。漢字作品とは違った、日本人独特の感性から生み出された「かな書」の美を楽しませてくれる。筆を持つ喜びと共に無欲で只管書き続け、今回も『楽しんで書けた…』とのご本人の話からは、平常心で力まず淡々と書き込み重ねたであろう姿が窺え、日頃の地道な努力の大切さを思うと同時にまた、今後のさらなる飛躍のためには、線の細太・墨量の研究が課題であろうか……。

これからも書を生涯の友として書き続けてください。奨励賞受賞、おめでとうございます。

講評担当者 小杉 紘南



■ 奨励賞  
「夜起」  
金城 久弥

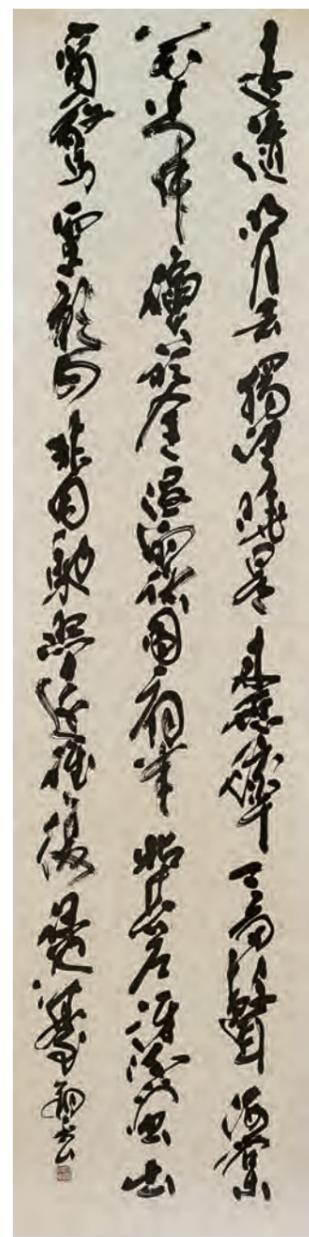
文字を敬う心が師を仰ぎ見る精神を培う。書芸術文化を究むるは稽古鍛錬を怠ることなくが書の道の神髄。如何にして気韻生動を漲らせる作が生まれるか、作者の心根が全て書作に表象される。この作は明、清代の古典を基調に五言詩、五十字を三行、行草連綿で纏めた作。真正面から取り組んだ正攻法である。構成、墨量ともにほど良く、行間がとても明るい。細心大胆で流暢な筆捌きは流石である。現在、読売書法展の理事でこの道一筋である。小学生の頃から五体字類を持っていたと聞く。今後が期待される作家の一人である。更なる精進を乞う。

講評担当者 真喜屋 華泉

■ 沖縄県文化振興会理事長賞  
「夫に寄す他二首」  
大田 安子

雁飛から始まる漢詩。四行体に小字二行体の作品構成である。玉鐸調の連綿体で潤濁をねらった佳作である。特に二行目の日婦から空有までの流れが成功している。そして三行目の雨聲の濁筆が二行目を更に盛り上げる役目を果たしている。作品の基本要素である文字の大小、墨量の変化、文字の疎密を十分考した作品である。また、行間が美しく見る人々を魅了することでしょう。これまで沖展、中央展等の活躍が今回の理事長賞受賞に結びついたと思う。今後の益々の御活躍をお祈りします。

講評担当者 大城 碧鳳



## ■ 書道公募展作品一覧

## 審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
雖有嘉肴	C	漢字	我喜屋 明正
作品 NO2	B横	前衛	濱元 加陽
夏の思い出	B横	調和体	眞喜屋 華泉
つむがれて	B横	かな	村山 穂舟
澤畔 (たくはん)	A縦	漢字	仲里 光雲
主私牧者 (しゅわはわたしのぼくしゃ)	D	篆刻	東江 順子
真復楽	C	漢字	運天 南陽
朝霧	B横	漢字	大城 碧鳳
秋の情景	B横	かな	小杉 紘南
文徴明詩	A縦	漢字	砂川 桂峰
求福	B縦	漢字	田名 洋泉

## 無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
趙執信詩	A縦	漢字	島 尚美
三峰染月寒	D	篆刻	金城 多美子
署中子規を聞く	B縦	漢字	中村 裕美
行違りば兄弟 (いちぢりばちよーでー)	B縦	調和体	神山 律子
万国津梁鐘銘文之一節	A縦	漢字	上門 かおり
行く秋の	B横	かな	新里 明美
門を出ず	A縦	漢字	西蔵盛 英雄
万国津梁の鐘の銘文より	A縦	漢字	仲舛 由美子

## 書道入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 秋柳四首	A縦	漢字	伊禮 かおる	豊見城市
沖縄県文化振興会理事長賞 夫に寄す 他二首	A縦	漢字	大田 安子	西原町
奨励賞 夜起	A縦	漢字	金城 久弥	八重瀬町
奨励賞 陶淵明詩	A縦	漢字	東徳嶺 輔	南風原町
奨励賞 小町の歌	B縦	かな	仲里 美代子	南風原町
新人賞 該当者なし	—	—	—	—

## 書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
漢詩	A縦	漢字	神里 和子	南風原町
ピュア(真)	A縦	前衛	渡辺 真樹子	読谷村
花の歌	A縦	かな	佐敷 博美	豊見城市
有陰徳者 必有陽報	D	篆刻	安里 涼子	那覇市
澄心静慮 龍飛鳳舞	D	篆刻	田頭 節子	那覇市
騎虎之勢 孤掌難鳴	D	篆刻	山城 千恵子	那覇市
温故知新 有名無実	D	篆刻	上間 道子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊波 エツ子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	香村 春乃	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	安里 弘子	沖縄市
杜甫詩	A縦	漢字	佐渡山 香	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	奥濱 喜美子	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	喜納 八重子	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	田場 愛子	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	與那覇 初子	北谷町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	比嘉 さつき	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋宜 由季奈	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	久志 すぎの	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	與那覇 律子	宜野座村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	島田 直子	うるま市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋良 美香	沖縄市
李白詩	A縦	漢字	仲村 冴子	沖縄市
和答楊振采見寄韻(蔡大鼎)	A縦	漢字	新垣 貴子	那覇市
陶淵明詩	A縦	漢字	真栄田 義之	那覇市
洞庭に遊ぶ	A縦	漢字	湧田 市子	沖縄市

## 書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
海市(蘇軾)	A縦	漢字	永山 千里	那覇市
黄鶴樓にて猛浩然の広陵に之を送る他二首	A縦	漢字	新垣 恵津子	嘉手納町
秋懐詩	A縦	漢字	上原 好美	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	川上 タケミ	北中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 律子	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮里 えり子	浦添市
杜子美詩	A縦	漢字	宮城 みち子	中城村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊佐 直美	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	内間 カズ子	浦添市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	有銘 盛吉	宜野湾市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	古賀 日奈子	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	富山 美智子	宜野湾市
金雞嶺の僧室 他二首	A縦	漢字	長堂 加代子	読谷村
七言律詩 二首	A縦	漢字	上江田 敏博	豊見城市
漢詩二首	A縦	漢字	大城 さやか	名護市
漢詩二首	A縦	漢字	田港 玲子	名護市
真	A縦	前衛	山田 瑠美	糸満市
贈陳都師 他一首	A縦	漢字	真栄田 ミネ子	那覇市
ほととぎす	B横	かな	山城 早代	那覇市
村居他一首	A縦	漢字	浦崎 康哉	名護市
送同社員外番言過嶺 他二首	A縦	漢字	古堅 直子	伊江村
雑調三首唐憲翁先生に呈す 其二	A縦	漢字	翁 長 淳	那覇市
韋應物詩	A縦	漢字	天久 美津枝	読谷村
旅興其二	A縦	漢字	金城 めぐみ	八重瀬町
冬日偶然作	A縦	漢字	龜川 盛敏	西原町
靈峰山房にて夜起す	A縦	漢字	小橋川 スガ子	那覇市
北帰行	A縦	調和体	金城 純子	浦添市
荒城の月	A縦	調和体	高橋 直美	那覇市
雑詩 其二	A縦	漢字	嶺井 由起子	那覇市
雑詩 其三	A縦	漢字	平良 祥大	南風原町
和陶 其二	A縦	漢字	山里 昌輝	久米島町
寂寂	A縦	漢字	桑 江 遼	浦添市
周原幽居	B横	漢字	友利 久美子	北中城村
述懐	A縦	漢字	柊崎 ケイ子	浦添市
星雲	A縦	前衛	岸本 泰子	名護市
秦旭詩	A縦	漢字	上原 孝之	豊見城市
北帰行	A縦	調和体	後藤 豊彦	那覇市
琉球漢詩二首(蔡肇功)	A縦	漢字	玉那覇 明美	与那原町
神無月	B横	かな	仲宗根 ひろみ	沖縄市
月すめば	A縦	かな	宮城 多佳子	浦添市

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
桜かざして	B横	かな	仲栄真 律子	沖縄市
碧瑠璃のそら	B横	かな	内間 隆子	うるま市
花の香	B横	かな	比嘉 栄子	北中城村
竜田川	B横	かな	饒平名 真由美	那覇市
菊の花	A縦	かな	喜友名 晴香	北中城村
舞	B横	かな	喜友名 正子	北中城村
ふるさと	B横	かな	福原 美枝	うるま市
音羽山	B縦	かな	渡慶次 喜代美	嘉手納町
天の川	B横	かな	秋広 美智子	うるま市
ゆきの花	B横	かな	仲里 美智子	宜野湾市
奥山	B横	かな	外間 匡美	宜野湾市
あすか川	B横	かな	仲村 妙子	沖縄市
杜甫詩	A縦	漢字	仲宗根 司	沖縄市
暮春魏州東亭送李司馬歸扶風別廬	A縦	漢字	金城 綾子	八重瀬町
訪戴天山道士不遇	A縦	漢字	兼島 直美	八重瀬町
奉和幸韋嗣立山莊應制	A縦	漢字	知念 レイ子	伊江村
晚泊龍山 (他一首)	A縦	漢字	友寄 恵子	伊江村
曲江春望懷江南故人	A縦	漢字	阿部 好弘	伊江村
朱彝尊詩	A縦	漢字	知念 一正	那覇市
白楽天詩	A縦	漢字	新城 円香	豊見城市
興慶池にて宴に待す応制	A縦	漢字	大城 美季	浦添市
宿玉陽山房 他一首	A縦	漢字	仲原 真津枝	宜野湾市
与謝野晶子の歌三首	B横	かな	當間 秀美	那覇市
落日	B横	かな	志田 美代子	浦添市
秋景	B横	かな	伊波 正明	うるま市
古今和歌集より恋歌	B横	かな	喜納 竹子	与那原町
紀貫之の歌	B横	かな	與那覇 博美	那覇市
秋	B横	かな	古波蔵 悦子	宜野湾市
秋立つと	B横	かな	宮里 民子	宜野湾市
防人の歌	B横	かな	宮里 キヨ	宜野湾市
秋草	B横	かな	儀間 廣子	浦添市
李念茲詩「雲」	A縦	漢字	豊平 美奈子	豊見城市
送別 他二首	A縦	漢字	与儀 好子	那覇市
関下贈裴舍人	A縦	漢字	謝名堂 奈緒子	うるま市
飲中八仙歌	A縦	漢字	栄野川 栄子	うるま市
漢詩三首	A縦	漢字	島津 和美	名護市
杜甫詩他一首	A縦	漢字	真謝 幸代	名護市
舟人吹笛	A縦	漢字	渡口 葉子	うるま市
「大きなのっぽの古時計」	D	刻字	宮城 克美	那覇市
「命どう宝」	C	刻字	赤田 綾子	那覇市

第51回沖縄県芸術文化祭  
写真公募展

◆ ◆ ◆ ◆ 写真総評 ◆ ◆ ◆ ◆

昨年よりも応募人数が6名、作品数が23点とやや増えたのはコロナ禍で抑えられていた表現への反動なのでしょう。

しかし微増ながらも辛口評でいうと、作品は全体的に表現力、パンチ力に欠けるものであった。相変わらず過去に見たような作品群だ。作品をまねる事も大切な写真習得法だが、更に上へ脱皮する事が重要だ。その中で県知事賞に輝いた「吐息をなぞる」は独自の感性が溢れる写真で票割れはしたが県知事賞に十分値する素晴らしい作品であった。

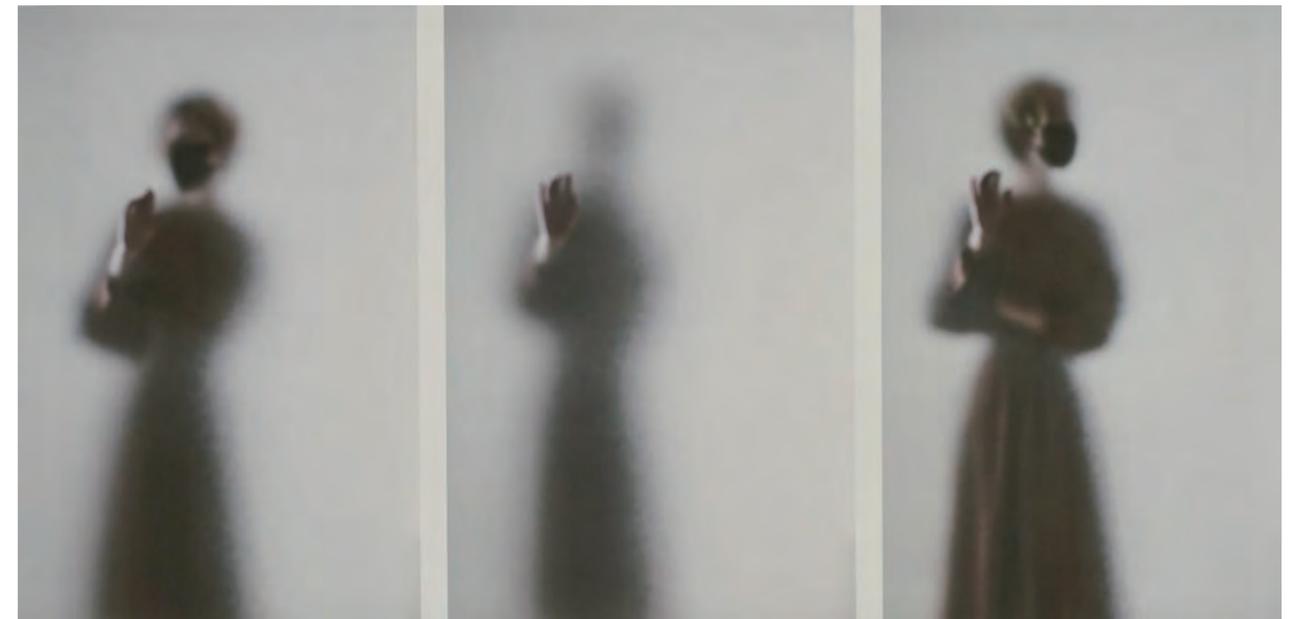
作品には大雑把に言えば二通りの表現方法があり、一つは見せる写真で二つめがイメージをさせる写真だ。「吐息をなぞる」の作品は正に後者に属し見る側に様々な思考を委ねることで作者、見る者との関係性を作り上げることに成功している。これこそが県芸祭の作品たる所以ではなかろうか。だからといって来年も同じ手法が入賞する事はないだろう。最終的には個々の持つオリジナルな表現力なのであると思う。作品作りに悩む方には写真本など学ぶお手本は多くあります。そしてカメラを持ち写す行為をすることが肝要だ。来期は今年以上にインパクトを持つ作品を期待致します。

写真部門審査員長 東 邦定

■ 沖縄県知事賞

「吐息をなぞる」

高野 大



絵画や彫刻、そして写真、その他の膨大な視覚メディアの氾濫は、80年代を皮切りに特有の感覚的な表現を生み出してきた。さまざまなイメージが引用され、混淆し、共存された今、折衷主義的で表層的な感覚は、現在のメディア環境の主流を占めつつある。

今回の県知事賞に輝いた作品、「吐息をなぞる」も新型コロナウイルスという未知との遭遇(社会的状況)に対して、演出された虚構空間を写真化した「コントラクティブフォト」と言える作品である。写真従来の、「撮る」、「写す」から距離をとり、被写体、あるいは空間を「作る」という美術的な側面を導入し、写真に新たな拡張をもたらしている。

被写体の前に透明のアクリル板置いたことで、作家の伝えたい「閉塞感、希薄感、悲壮感、そして吐息感」、その吐息をなぞる手先の孤独と顔一面のマスク姿、さらに不安定な構図と影は心理的体験のメタファーになっている。より混沌化していく社会に内省的とも思える自己変容が交差し、読み取る力を見る者に要求した深みのある作品である。

県知事賞、お見事です。

講評担当者 浦本 寛史

## ■ 沖縄県文化振興会理事長賞

## 「雷雲」

具志堅 一彦



本部半島から伊江島を望み、遠く沖縄本島近くの海や島に人知を超えた自然の営み、雷が降り注ぐ。それは雷様が恵みの雨を降らせるような呑気な昔話の雷鳴ではなく、この世の人の営みに罰を与える、まるで世界の終わりのように見える。自然は恐ろしく、また興味深く、そして美しい。そんな圧倒的な自然の脅威を作品に昇華した。

遠い水平線から雷雲でできた雲の島、そして伊江島の黒い島影を背景にして遠雷が主人公のように暴れまわっている。その前景にキラめくさざ波を配置した。さらに写真そのものに白フレームでしきり、その周りに黒背景を選択して白い絵の具を吹き付けて装飾した。

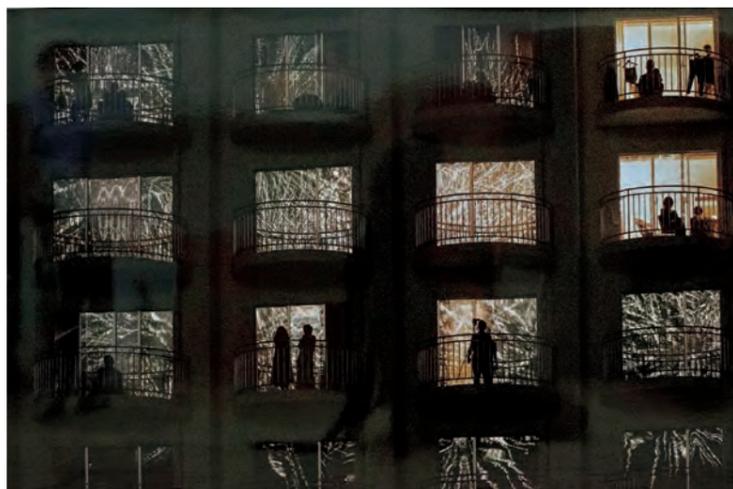
今回の作品は一見コントロールできない自然をテーマに制作しているが、実は全てのことに制御をきかせようとした意欲作である。

講評担当者 仲本 賢

## ■ 奨励賞

## 「窓辺の物語」

与儀 文夫



受賞おめでとうございます。

最初、何が写っているのかわかりませんでした。小さな写真を張り合わせたのか??

よく見ると、ホテルのベランダがシルエットになっていて、スナイパーが標的を狙っているスパイ映画に出てきそうなシーンです。画面の荒さが、更にミステリアスです。

更によく見ると、窓に花火が反射しています。なるほど、花火見物には特等席ですね。カップルや、三脚を据えて撮影している方もいますね。

明かりの灯っていない部屋は、会場に行っているのでしょうか? タイトル通り、部屋それぞれの「物語」が感じられます。花火ではなく、反対側に目を向けるというアイデアが良かったと思います。

『スナップ写真』の語源は、飛び立つ鳥を素早く射る『スナップ・ショット』と言われています。

作者は、凄腕のスナイパー(スナップ写真家)に違いありません。

講評担当者 西原 けんじ

## ■ 奨励賞

## 「72年の歴史に幕」

宮良 正子

首里劇場は終戦後の荒廃した沖縄で、いち早く人々の心の痛手を癒そうと建てた劇場で、ここでは沖縄芝居や人間クジラの奇術、学校の学芸会等が行われ、市民の心に明かりをともし続けた歴史ある劇場です。

私も学生時代にベトナム戦争当時、レマルク作の「西部戦線異状なし」のモノクロ映画を、硬い木製のベンチに腰掛けて鑑賞し、暗い空間で戦争の悲惨さと愚かさが体の芯まで沁みわたり、映画が終わって明るい外に出たとたん「生きていてよかった!」と歓声を上げたくなる経験をしたことがあります。

作者もその首里劇場が72年の歴史を静かに閉じようとしているのを残念に思い、この作品を創ろうと思ったのでしょうか。風雨に耐え抜いた劇場の正面と、その下に長い間この劇場を支えてこられた方が嬉しそうに対応している場面を配置し、さらに劇場内部の静まり返った木製椅子の写真も配置して、劇場の寂しい心の内まで写し込む構成で作品を仕上げることににより、作者の惜別の思いをうまく表現した大変良い作品です。

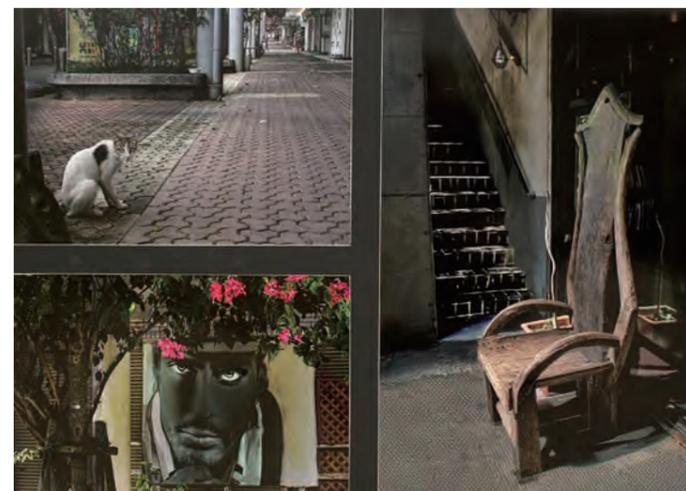
今後も宮良さんの思いを作品としてどんどん発表してください。楽しみにしています。

講評担当者 宇久田 全正

## ■ 奨励賞

## 「レトロ」

照屋 明



1964年8月2日・4日トンキン湾事件が勃発。これはこの年の2月1日から北ベトナムの破壊を計画した「宣戦布告なき攻撃」「欺瞞の作戦」と呼ばれる作戦の一環として引き起こされた事件であったと言われています。翌年2月7日から本格的なベトナム戦争が開始、嘉手納基地はB52爆撃機の発進基地となりました。

やがて街には米軍関係者の姿が多くみられるようになり、「コザ」の街パークアベニューは、ショールーム、看板や、商品等どこか外国のアンティーク街を思わせる賑わいを醸しだしていました。

あれから半世紀余り、今のパークアベニューを歩くのに、作者の脳裏にもあの頃の街が浮かんだのでは、そんなイメージの沸く作品に仕上がっていて、観る者をしてレトロの世界へ誘っています。受賞おめでとうございます。

講評担当者 島元 智

## ■ 新人賞

## 「記憶の中の彼女」

新里 ゆきえ



日々の生活の中で、ふと立ち止まるときがある。ある時、何らかのモノが自分の前に立ち現れたり、または、それがフィルターとなって今まで気づくことのなかったものを感じさせたり、気付かせてくれる、そんな不思議な人生の一コマがある。

この作品には作り手と、見る側との間に一つの共通の役目としての網入りガラスの存在がある。

網入りガラスを境界として、こちら側とあちら側に、複数の画像のレイヤーが折り重なり合いながら不穏なストーリー性を醸し出している。それはある種の間人関係を現実と非現実の世界を往還させる働きとしても役目を果たしているかのように面白い。

視点を何処に持っていかによって作品作りも変化して行く、新人賞受賞おめでとうございます。

講評担当者 根間 芳和



## ■ 写真公募展作品一覧

## 審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
守護神(宮城島)	半切り	単	屋良 勝彦
記憶の中の残像	110×105	組	東 邦定
遅れ馳せ	90×130	単	島元 智
春の訪れ	A3ノビ	単	宇久田 全正
見上げてごらん	A3ノビ	単	宇久田 全正
時よ止まれ	A3ノビ	単	宇久田 全正
アパースへの旅 =Identical twins=	160×110(2枚)	単	浦本 寛史
アドバイス	60×150	組	西原 けんじ
ワイトゥイ(切り通し)	42×56(A3)	単	上原 健次
メルカトル・パノラマ 220820_143429-143644 Peace Memorial Park, Hiroshima JPN	100×150	単	仲本 賢
あるカタチ I	43×19	単	根間 芳和
あるカタチ II	43×19	単	根間 芳和
あるカタチ III	43×19	単	根間 芳和

## 無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
まつりの子供達	76×130	単	松門 重雄
台風接近	53×64	単	吉直 新一郎
どっちな	62×72	単	國吉 倅明
ケナー吹きホセ	104.5×80	単	玉城 健次郎
役者Mの肖像	73×52	単	玉城 健次郎
俺の湯の町エレジー	52×73	単	玉城 健次郎
写真集 久高島情景	A4	写真集	玉城 健次郎

## 写真入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 吐息をなぞる	81×158	組	高野 大	宜野湾市
沖縄県文化振興会理事長賞 雷雲	85×132	単	具志堅 一彦	宜野湾市
奨励賞 窓辺の物語	82×112	単	与儀 文夫	中城村
奨励賞 72年の歴史に幕	113×75	組	宮良 正子	うるま市
奨励賞 レトロ	70×100	組	照屋 明	浦添市
新人賞 記憶の中の彼女	51×62	単	新里 ゆきえ	那覇市

## 写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
雨ふりの日曜日	55×53	組	名嘉 久美子	豊見城市
銀河への祈り	75×60	単	名嘉 久美子	豊見城市
琉球絣織り	77×92	組	諸見里 安吉	うるま市
私の合図を待て!	55×76	単	町田 宗昭	沖縄市
歴史漂う六角堂	61.5×72.5	単	伊藤 俊雄	宜野湾市
何しているの	48.3×68.7	単	高嶺 正美	豊見城市
自然は偉大な芸術家	86×107	組	屋富祖 良敬	那覇市
龍が舞う	43.7×59	単	富村 盛信	那覇市
さあ〜かえろうか	62×51	単	赤嶺 喜孝	那覇市
雨やどり	51×62	単	赤嶺 喜孝	那覇市
雨音のメロディー	81×112	組	長 濱 大	豊見城市
Umbrella In Sky	60×90	単	知念 清市	今帰仁村
海の見える風景シリーズ-DYNAMIC EARTH-	105×140	単	稲嶺 もりみつ	うるま市
収穫を見守る愛犬	51×62	単	喜納 正雄	与那原町
健康祈願	58.5×39	組	亀谷 長進	浦添市
夕暮れ時	73.5×61.5	単	正木 虎夫	宜野湾市
アーサ収穫	76.5×61.5	単	正木 虎夫	宜野湾市
4・28	110×79	組	正木 スエ子	宜野湾市
あ〜うまかった!!	60×44.5	単	楚南 冨美子	那覇市
ギャーたすけて〜!	61.5×72.5	単	松田 理	北谷町
捕獲(ほかく)	77×107	組	島本 孝一	沖縄市
熱い指導	112×82	組	神田 守	那覇市
オーラ	63×63	単	神田 守	那覇市
海の道しるべ	61.5×72.5	単	具志 明	八重瀬町
カプセルホテル?	59×43	単	米須 末子	沖縄市
胡蝶の舞	27×101	組	新城 直美	宜野湾市

## 写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
日々平安	86×62	組	新城 直美	宜野湾市
ニライ、カナナイ、え	74×60	単	大城 敏雄	与那原町
暮れなずむ	60×74	単	大城 敏雄	与那原町
照れやのぼく	62×51.5	単	安里 涼子	那覇市
朝日に燃ゆる	62×76	単	加島 治	北谷町
同化	62.5×51.5	単	下地 宏	沖縄市
二人で観たサクラ	69×78.5	単	比嘉 久美	南城市
覆り入れのいそしみ	69×78.5	単	比嘉 久美	南城市
飛ぶウナギ 走るカワウ	72×89	単	菅原 壯	沖縄市
ミサゴのダイビング	72×89	単	菅原 壯	沖縄市
岩彩	85×113	組	島田 美佐子	うるま市
雪国	112.5×71.5	組	内間 秀太郎	沖縄市
仲たがい	63×51	単	幸喜 あかり	沖縄市
ちむどんどん	51×62	単	嘉手刈 エミ子	豊見城市
男	62×51	単	宮城 哲子	那覇市
異邦人	76.7×61.4	単	安田 正昭	那覇市
再会	61.4×76.7	単	安田 正昭	那覇市
サンセットストーリー	51×62	単	又吉 全一	豊見城市
夏雲の下で	60.5×74.5	単	金城 光男	西原町
威嚇	47×62.5	単	松田 昌一	沖縄市
春をつかむ	78×63	単	原国 政裕	豊見城市
ストリート	64×89	単	又吉 英男	浦添市
天空の男達	64×111	組	我喜屋 功	那覇市
ひまわり	80.5×154.2	組	おおき ゆうこう	南風原町
揺蕩うまに	112×64	組	永味 節子	中城村
夏時間	112×64	組	永味 節子	中城村
ナイスライディング	51×61.5	単	具志堅 一彦	宜野湾市
愛牛を育む闘牛女子	62×76	組	新垣 フミ子	南風原町
神秘の世界	76×2	組	仲吉 佑美香	南風原町
離合集散	83×107	組	上江洲 正宏	那覇市
おつとめを終えて	52×62	単	安次嶺 まり子	那覇市
北のくに	15.3×19.5	写真集	宮城 米子	中城村
落陽の詩	51×63	単	當山 清裕	宜野湾市
停まった時間	84×114	組	本庄 正人	那覇市
雨あがり	103×74	組	本庄 正人	那覇市
Who are you	61×72	単	宮森 和夫	沖縄市
コザ街探索	72×61	組	宮森 和夫	沖縄市
初夏	62×51	単	麓 隼人	那覇市
放置船	113×83	組	花城 雅孝	那覇市
待ち合わせ	63×52	単	花城 雅孝	那覇市
コロナの休日	51×62	単	大城 卓也	糸満市
夏の帰り道	72.3×61.4	単	新垣 隆吾	与那原町

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
人が消えた街	47.3×61.4	単	新垣 隆吾	与那原町
魔女の住む森	51.5×66.5	単	長堂 哲	読谷村
アグリモンスター	113×83.5	組	新垣 允啓	豊見城市
島時間	63.4×77.4	単	新垣 允啓	豊見城市
岩肌に染まる	62×51	単	高良 美千子	那覇市
外界への旅立ち	62×51	単	城間 由美子	八重瀬町
祝 歌碑誕生	60×130	組	川満 昭男	西原町
眼球	48×63	単	川満 昭男	西原町
「ありがとう」撮影地 久高島	18×19	写真集	出口 由香	南城市
波二モマケズ	62.5×45.2	単	真栄城 浩	北谷町
赤鬼	53×64	単	我那覇 洋子	那覇市
至福のひとつとき	69×79	単	砂川 盛榮	浦添市
ひと休み	48.3×32.9	単	儀間 生子	那覇市
市場を駆ける	32.9×48.3	単	儀間 生子	那覇市
ミッショングローブを着た婦人	48.5×64.0	単	喜屋武 敬子	豊見城市
錆びたピット	51.5×62.5	単	桃原 正憲	那覇市
夏の香り	60×90	組	當間 奈津菜	豊見城市
ファンタスティック	52×80	単	比嘉 功助	沖縄市
海へ	42×59.4	単	仲栄真 宏	那覇市
ソフトクリーム	59.4×42	単	仲栄真 宏	那覇市
そよ風に吹かれて	63×51	組	山里 邦子	那覇市
故きを温ねて	53×64	単	仲程 梨枝子	那覇市
sirohara story	21.5×28.5	写真集	砂川 悦子	豊見城市
豊浜鯛まつり	67×56	単	砂川 悦子	豊見城市
写真大好き4人組	51×62.5	単	大城 智子	南風原町
木漏れ日に包まれながら	51.5×66	単	金城 真紀子	与那原町
御来光(伊勢神宮)	51.5×66	単	金城 真紀子	与那原町
五穀豊稔	48×63	単	富永 由香	糸満市
春爛漫	66×51	単	富永 由香	糸満市
祈りと願いを込めて	68×52	単	平安 政子	西原町
やぎバトル	62×73	単	新田 みゆき	名護市
愛牛〜勝っても負けても〜	51×62	単	新里 ゆきえ	那覇市
伊計島点描	78×108	組	大城 慶子	豊見城市
禁煙の裏通り	61×71	単	大城 慶子	豊見城市
Hope	73×103	単	安里 寿美	沖縄市
Who are you?	83×113	組	安里 寿美	沖縄市
古民家	43.5×147	単	崎濱 慶子	那覇市
癒しのスポット	67.5×88	単	崎濱 慶子	那覇市
碧の舞	62.5×51.5	単	鈴木 康子	豊見城市
希望	32×24	単	叶 信之	那覇市
その先は…	44.7×32.8	単	上原 秀児	那覇市
舞台裏の視線	64.4×53.9	組	山内 利江子	読谷村

# 歴代部門別入賞者一覧

## 美術公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞	新人賞	
S52	6	永山 信春	我如古 彰一			上原 隆昭 米須 敏三郎		
S53	7	米須 敏三郎	尚 武			川平 惠造 比嘉 良二	屋良 朝春	
S54	8	永山 信春	米須 敏三郎			川平 惠造 比嘉 良二	与那覇 朝大	
S55	9	与那覇 朝大	喜友名 朝紀			朝内 信二郎 新垣 安雄	瑞慶山 昇 能山 宗忠	
S56	10	川平 惠造	青山 映二			新城 剛 砂川 喜代	比嘉 良二	
S57	11	宮城 和邦	浦崎 彦志			上江洲 由朗 川平 惠造	当山 進	
S58	12	川平 惠造	和宇慶 朝健			伊本 隆一 上江洲 由朗	宮城 孝也	
S59	13	和宇慶 朝健	屋良 朝彦			伊本 隆一 砂川 喜代	和宇慶 朝健	
S60	14	上江洲 由朗		比嘉 良二		鎖西 公子 仲宗根 清	山内 盛博 屋良 朝彦	
S61	15	上江洲 由朗		金城 満		伊良部 恵勝 金城 準子	宮城 孝也	
S62	16	島袋 喜代子		伊良部 恵勝		金城 準子 知名 久夫	山田 武	
S63	17	金城 満		宮里 顕		叶 英樹 知名 久夫	屋良 朝彦	
H1	18	新垣 正一		屋良 朝彦		叶 英樹 三木 元子	山内 盛博	
H2	19	宮里 昌健		長嶺 斉		奥原 崇典 瑞慶山 昇	仲村 春孝	
H3	20	仲里 安広		新崎 竜也		奥本 静江 佐久間 盛義	瑞慶山 昇	
H4	21	奥本 静江		知念 秀幸		知名 久夫 仲本 清隆	宮城 和邦 宮里 昌健	
H5	22	知念 秀幸		池宮城 智子		玉城 正明 知念 盛一	比嘉 良徳	
H6	23	又吉 邦華		比嘉 良徳		稲嶺 盛一郎 上原 仁輔	三木 元子	
H7	24	赤嶺 雅		大城 朝康		叶 ひでき 志喜屋 徹	花城 勉	
H8	25	花城 勉		宮城 あすか		赤嶺 雅 奥原 崇典	我謝 弘行	
H9	26	大城 久美子		津波 古 稔		新垣 盛秀 磯村 茂	玉城 正明	
H10	27	松本 妙子		三木 元子		奥本 静江 西平 賀雄	根間 智子	
H11	28	永原 達郎		根間 智子		親川 松清 佐久本 米子	堀川 恭昭	
H12	29	津波 古 稔		豊永 盛人		安里 充広 小橋川 清一	宮城 和邦	
H13	30	与那覇 芳恵		安富 幸子		大城 久美子 叶 ひでき	佐久本 米子	
H14	31	山川 さやか		樹井 昌智		栗山 絵美子 佐久本 米子	宮里 ユキ子	
H15	32	富元 明雄		与那覇 芳恵		佐久本 米子 安富 幸子	山川 さやか	
H16	33	波平 栄宏		池原 優子		栗山 絵美子 富元 明雄	宮里 ユキ子 富名腰 ヨシ子	
H17	34	池原 優子		富名腰 ヨシ子		上原 はま子 河原 圭祐	安富 幸子 野津 唯市	
H18	35	島袋 洋		釘本 成行		仲本 潤光 平川 宗信	上原 英樹 濱元 朝和	
H19	36	佐久本 米子		橋本 弘徳		玉城 正明 城間 義夫	野津 唯市 宜保 和可乃	
H20	37	奥原 崇典		宮城 翔子		野津 唯市 太田 成美	上原 英樹 栗山 ルリ子	
H21	38	普天間 実佳		栗山 ルリ子		宮里 友三 上原 義正	玉那覇 英人 宮城 才子	
H22	39	仲里 安広		玉那覇 英人		鶴見 伸 宮里 友三	濱口 真央 並里 幸太	
H23	40	鶴見 伸		宮里 昌信		嵩原 武子 與那覇 勉	玉那覇 英人 中澤 将	
H24	41	玉那覇 英人		宮里 昌信		鶴見 伸 伊波 則雄	與那覇 勉 金城 知美	
H25	42	伊波 則雄		宮里 昌信		宮里 友三 具志堅 古秀	中澤 将 朝妻 彰	
H26	43	鶴見 伸		與那覇 勉		北山 千雅子 具志堅 古秀	伊波 則雄 伊志嶺 達雄	
H27	44	山城 道		與那覇 勉		仲程 悦子 金城 恵美子	北山 千雅子 饒平名 知健	
H28	45	北山 千雅子		嵩原 武子		伊波 則雄 仲程 悦子	松本 幸昌 華山 聖作	
H29	46	小泉 ゆりか			伊波 則雄	與那覇 勉 仲宗根 市子	並里 幸太 齋 悠記	
H30	47	伊志嶺 達雄			平川 宗信	與那覇 勉 仲程 悦子	仲座 包子 カガミ ジョージ	
R1	48	齋 悠記			福田 直樹	與那覇 勉 平川 宗信	松本 幸昌 浦田 健二	
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
R3	50	平川 宗信			鈴木 まこと	城間 文雄 砂川 恵光	伊志嶺 達雄 梶原 麻里奈	
R4	51	與那覇 勉			伊元 隆一	平敷 傑 伊志嶺 達雄	浦田 健二 比屋根 清隆	

## 書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞	新人賞
H8	25	島野 裕司	眞喜屋 美佐		上地 徹 香村 ナホ	比嘉 良勝
H9	26	島 尚美	中村 裕美		泉 朝信 砂川 榮	比嘉 良勝
H10	27	中村 裕美	上地 徹		新垣 洋子 砂川 榮	浜口 清子
H11	28	神山 律子	砂川 榮		荻堂 ひろ子 眞喜屋 美佐	与那覇 典子
H12	29	神山 律子	玉城 君子		砂川 榮 高江洲 朝則	眞喜屋 美佐
H13	30	西蔵盛 英雄	連天 美代子		島 尚美 長浜 和子	比嘉 千鶴子
H14	31	比嘉 千鶴子	西蔵盛 英雄		金城 多美子 島 尚美	眞喜屋 美佐
H15	32	比嘉 さつき	我喜屋 文子		金城 多美子 高江洲 朝則	宮里 朝尊
H16	33	上門 かおり	金城 多美子		高江洲 朝則 長山 リエ子	比嘉 千鶴子 上原 孝之
H17	34	高江洲 朝則	志村 京子		安里 友子 金城 多美子	宮里 朝尊 稲嶺 法子
H18	35	上原 貴子	斉藤 純子		與那覇 律子 宮里 朝尊	山内 昌輝
H19	36	田頭 節子	斉藤 純子		與那覇 律子 幸喜 石子	山内 昌輝 該当者なし

## 書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	奨励賞	新人賞		
H20	37	新里 明美	幸喜 石子		石川 美智代 上門 かおり	山内 昌輝 普天間 完文		
H21	38	仲舛 由美子	幸喜 石子		仲里 徹 渡久地 美佐子	具志堅 ナエ子 金城 真理子		
H22	39	上門 かおり	山内 昌輝		渡久地 美佐子 謝名堂 奈緒子	石川 美智代 喜友名 正子		
H23	40	金城 真紀子	新里 明美		仲舛 由美子 渡久地 美佐子	松 淳子 松川 美智子		
H24	41	渡慶次 喜代美	石川 美智代		與那城 千恵子 仲里 徹	大仲 春奈 城間 律子		
H25	42	仲舛 由美子	上運天 春菜		謝名堂 奈緒子 渡慶次 喜代美	田頭 節子 安座真 賀子		
H26	43	與那覇 律子	仲里 徹		喜納 京子 上原 千枝美	天久 美津枝 大田 安子		
H27	44	幸喜 洋人	謝名堂 奈緒子		石津 陽子 仲里 徹	田頭 節子 神里 和子		
H28	45	眞謝 幸代	上原 千枝美		上原 貴子 渡慶次 喜代美	田頭 節子 福原 美枝		
H29	46	長堂 加代子		島津 和美	神里 和子 新垣 恵津子	當間 秀美 濱川 綾子		
H30	47	伊波 エツ子		仲宗根 司	田頭 節子 喜友名 正子	金城 綾子 該当者なし		
R1	48	田福 宏美		島津 和美	宮本 康申 湧田 市子	當間 秀美 該当者なし		
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
R3	50	知念 一正		仲村 冴子	天久 美津枝 安里 涼子	平良 祥太 岸本 泰子		
R4	51	伊禮 かおる		大田 安子	金城 久弥 東徳嶺 輔	仲里 美代子 該当者なし		

## 写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事長賞	県議会議員賞	市長会長賞	奨励賞	新人賞
S54	8	末吉 はじめ	嘉納 辰彦			田中 澄一	仲宗根 直	大嶺 信雄 上原 健次	小谷 隆男
S55	9	大嶺 信雄	名嘉真 朝健			上原 健次	比嘉 清眞	川平 幸雄 照屋 忠	宮平 秀昭
S56	10	嘉納 辰彦	大城 喜一郎			原田 欣哉	上地 完徳	大城 信吉 隅田 伸之	久田 友福
S57	11	該当者なし	田場 盛雄			村澤 仲裕	久田友福・大城信吉	川平 幸雄 我那覇 生守	新里 和子
S58	12	比嘉 朝之	上地 完徳					大城 信吉 久田 友福	村瀬 武文
S59	13	大城 信吉	中村 正文					知念 清市 久田 友福	宮城 信秀
S60	14	屋良 朝栄		吉直 新一郎				崎山 佳裕 比嘉 朝之	前原 常男
S61	15	嘉数 繁光		大城 幸信				上原 健次 坂井 和夫	仲米 政雄
S62	16	阿波連 勲		金城 幸彦				浦本 寛史 高塚 勝巳	新田 健夫
S63	17	安田 敬子		末吉 はじめ				伊佐 美砂 金城 幸彦	知念 佑子
H1	18	牧 直實		伊芸 元一				上原 健次 知花 照子	比嘉 朝之
H2	19	嘉数 和子		比嘉 睦子				金城 幸彦 儀間 真人	名嘉真 朝健
H3	20	金城 幸彦		平井 毅				大川 修 翁長 正則	宮本 伝
H4	21	金城 幸彦		知花 照子				比嘉 文雄 宮本 伝	山川 宥元
H5	22	松門 重雄		島袋 正然				伊芸 元一 上地 キミ子	新田 健夫
H6	23	登野城 安則		祖慶 良勇				上地 キミ子 仲宗根 直	平良 克之
H7	24	富平 実		伊芸 元一				上地 キミ子 崎山 洋子	比嘉 睦子
H8	25	上地 キミ子		諸見里 光子				金城 一史 山城 正雄	与那城 武旭
H9	26	染矢 尚武		松門 重雄				喜名 朝駿 友利 孝子	豊島 貞夫
H10	27	知名 信子		染矢 尚武				瀬良垣 馨 平良 克之	眞栄田 久嗣
H11	28	平良 幸江		親泊 秀尚				阿南 鐵司 上地 キミ子	与那城 杜旭
H12	29	中山 興也		波平 常則				石川 敬介 喜名 朝駿	當眞 嗣範
H13	30	瑞慶覧 進		山城 和代				喜名 朝駿 相慶 良勇	与那城 杜旭
H14	31	喜名 朝駿		山城 盛達				佐久田 尚昌 長堂 嘉秀	宮城 義亨
H15	32	国吉 倅明		祖慶 良勇				翁長 盛武 添石 幸安	富平 実
H16	33	仲村 千佳子		福村 安弘				小渡 静男 島袋 弘	山田 浩 松本 達子
H17	34	翁長 盛武		山城 和代				上原 健次 木村 正男	島元 智 しんざとえいじ
H18	35	仲村 千佳子		比嘉 清眞				仲村 繁 小嶺 朝子	松本 達子 森山 ひろみ
H19	36	辺土名 朝功		吉直 新一郎				比嘉 清眞 松山 朝雄	岩城 禮子 島尻 郁美
H20	37	吉直 新一郎		比嘉 清眞				宇栄原 格 波平 栄宏	豊平 信則 泉谷 望
H21	38	添石 艶子		大嶺 勝美				南 研作 西原 けんじ	宮良 文 比嘉 正栄
H22	39	島元 智		国吉 倅明				新城 直美 高野 生優	比嘉 清眞 城間 由美子
H23	40	島元 智		島袋 陽子				比嘉 清眞 渡久地 政修	宮良 文 長堂 哲
H24	41	山内 弘子		田中 優子				祖慶 良勇 島袋 ムリ子	福盛 庸夫 又吉 国夫
H25	42	砂川 悦子		新垣 フミ子				泉 朝順 木戸 栄里	大嶺 自米 兼島 正
H26	43	山内 昌昭		宮城 米子				羽地 良磨 山内 弘子	城間 由美子 原国 政裕
H27	44	稲嶺 もりみつ		山内 昌昭				宮義 洋史 知念 信雄	大川 盛安 幸喜 あかり
H28	45	又吉 英男		眞栄城 浩				宮城 米子 城間 由美子	金城 直也 永味 節子
H29	46	宮義 洋史			新城 直美			花城 雅孝 與儀 美奈子	我喜屋 功 親富相 勝枝
H30	47	玉城 健次郎			大城 敏雄			砂川 悦子 喜屋武 敬子	名嘉 元希 天久 昌子
R1	48	添石 艶子		John H. Tien				安田 正昭 新垣 フミ子	城間 由美子 中村 秀雄
R2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
R3	50	屋富相 良敬			玉城 健次郎			名嘉 久美子 正木 スエ子	長 満 大 島田 美佐子
R4	51	高野 大			具志堅 一彦			与儀 文夫 宮良 正子	照屋 明 新里 ゆきえ

歴代部門別入賞者一覧

歴代部門別入賞者一覧